

テッド・バンディ (2019)

EXTREMELY WICKED, SHOCKINGLY EVIL AND VILE

メディア 映画

ジャンル ドラマ サスペンス 伝記

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 109分

初公開日 2019/12/20

公開情報 ファントム・フィルム

映倫 R15+

【キャッチコピー】

極めて邪悪、
衝撃的に
凶悪で卑劣

【解説】

「ハイスクール・ミュージカル」「セブンティーン・アゲイン」のザック・エフロンが、30人以上の女性を殺害した稀代の連続殺人鬼テッド・バンディを演じる実話ドラマ。彼の長年の恋人だったエリザベス・クレプファーの回顧録を基に、テッド・バンディの優しい一面しか知らず彼との温かな思い出だけが残るヒロインの視点から、裁判で徐々に明らかとなるその悪魔の所業に衝撃を受けながらも、完全には疑うことができないヒロインの揺れ動く姿を、バンディが女性たちを惹きつけた“邪悪な魅力”とともに描き出していく。ヒロインのエリザベス（リズ）役はリリー・コリンズ。共演にカヤ・スコデラーリオ、ジョン・マルコヴィッチ。監督はテッド・バンディのドキュメンタリー「殺人鬼との対談：テッド・バンディの場合」も手掛けている「ブレアウィッチ2」「メタリカ：真実の瞬間」のジョー・バーリンジャー。

1969年、ワシントン州シアトル。シングルマザーのリズはバーで出会ったハンサムな男性テッド・バンディと恋に落ち、やがてリズの幼い娘モリーと3人で幸せな家庭を築いていく。しかし1974年、若い女性の行方不明事件が多発していることが新聞で報じられ、その後テッドは誘拐未遂の容疑で逮捕される。テッドの犯行を伺わせる状況証拠が次々と明らかになっていく中、無実を訴える彼の言葉を信じ続けるリズだったが…。

【クレジット】

監督	ジョー・バーリンジャー	Joe Berlinger
製作	マイケル・コスティガン	Michael Costigan
	ニコラス・シャルティエ	Nicolas Chartier
	ジョー・バーリンジャー	Joe Berlinger
	アラ・ケシシアン	Ara Keshishian
	マイケル・シムキン	Michael Simkin
製作総指揮	ザック・エフロン	Zac Efron
	マイケル・ワーウィー	Michael Werwie
	ジョナサン・デクター	Jonathan Deckter
	ジェイソン・バレット	Jason Barrett
原作	エリザベス・クレプファー	Elizabeth Kloepfer
脚本	マイケル・ワーウィー	Michael Werwie

allcinema

プロダクションデザイン	ブランドン・トナー=コノリー	Brandon Tonner-Connolly	
衣装デザイン	メーガン・スターク・エヴァンズ	Megan Stark Evans	
編集	ジョシュ・シェファール	Josh Schaeffer	
音楽	マルコ・ベルトラミ	Marco Beltrami	
	デニス・スミス	Dennis Smith	
音楽監修	ロビン・アーダング	Robin Urdang	
出演	ザック・エフロン	Zac Efron	テッド・バンディ
	リリー・コリンズ	Lily Collins	エリザベス (リズ)
	カヤ・スコデラーリオ	Kaya Scodelario	キャロル・アン・ブーン
	ジェフリー・ドノヴァン	Jeffrey Donovan	
	アンジェラ・サラフィアン	Angela Sarafyan	
	ディラン・ベイカー	Dylan Baker	
	ブライアン・ジェラティ	Brian Geraghty	
	ジム・パーソンズ	Jim Parsons	
	ジョン・マルコヴィッチ	John Malkovich	エドワード・コワー ト判事